

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 一般国道47号 仙台北部道路 <small>せんたいほくぶ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：宮城県宮城郡利府町加瀬 至：宮城県黒川郡富谷町富谷	延長 13.5km	
事業概要 常磐自動車道は、東京都練馬区を起点とし、南東北の太平洋沿岸の主要都市を経て宮城県仙台市に至る延長約340kmの高規格幹線道路である。 仙台北部道路は、常磐自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路であり、常磐自動車道の一部として機能し、仙台都市圏環状自動車専用道路網の一部を形成するとともに、東北地方の物流拠点である仙台塩釜港の利便性向上、交通混雑の緩和等に寄与することを目的としている。		
H5年度事業化 H4年度都市計画決定 H6年度用地着手 H9年度工事着手		
全体事業費 1,184億円 事業進捗率 65% 供用済延長 5.2km		
計画交通量 31,500台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 4.7	総費用 (残事業)/ (事業全体) 387/1,335億円 (事業費：345/1294億円) (維持管理費：41/41億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 1,822/2,136億円 (走行時間短縮便益：1609/1916億円) (走行経費減少便益：135/141億円) (交通事故減少便益：78/79億円)		基準年 平成19年
感度分析の結果 事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】 交通量変動：B/C=1.8(交通量+10%) B/C=1.4(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.5(事業費+10%) B/C=1.7(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.3(事業期間+20%) B/C=1.9(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・物流効率化の支援（特定重要港湾仙台塩釜港へのアクセス向上が見込まれる） ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する） 他11項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 仙台北部道路は仙台市の各拠点へのアクセス性を向上するとともに、物流ネットワーク機能強化に重要な役割を果たすことが期待されており、仙台市長をはじめとする関係5市8町1村の首長で構成される仙台都市圏広域行政推進協議会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化および関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：710億円（進捗率65%） うち用地費：120億円（進捗率92%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業進捗に関わる問題はなく、利府しらかし台I.C～富谷J.C.T（L=6.6km）及び富谷J.C.T～国道4号（L=1.7km）について、平成20年代前半に暫定2車線供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 富谷J.C.Tランプ構造の見直しや縦断線形・勾配の見直しによるコスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。